

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 3年 2月26日

事業所名: わかば園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準よりも子どもに合わせて多く配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		個人のマークを貼り、視覚的な表示で分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		点検簿に基づき午前・午後の療育終了後清掃・消毒を行っている。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		随時話し合いを持ち職員の共通理解に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		親の会の会議等に参加し情報収集し改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		評価結果をホームページに公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各種の研修会に参加している。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		関係機関の情報も得て支援計画に反映させている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		関係機関等からの情報も得ている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		関係機関や保護者からの情報を得て各項目に沿って記載している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		専門療法士等からの意見を参考に支援につなげている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個々に応じた支援方法をチームで行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節に合った遊びや、個々の発達に合わせて月の療育案を計画している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		毎回療育案をたて個々に合わせて設定している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎回グループごとにミーティングし、子どもの行動、活動について確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後に活動や子どもの姿、保護者からの話など伝え合うようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		療育内容や子どもの様子を個別に記録し、共有している。	
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		日々の話や関係機関の情報で振り返りしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者を中心に参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターの総合発達相談会に参加し連携をとっている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併行通園先との連絡会を実施し情報共有をしている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		連絡会や移行シートを使い連携を図っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターの連絡会や研修に参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今年度はコロナ禍のため実施できなかったが、併行通園している子どもは現在27名。未就園の子ども達が他児と交流できる機会を計画する。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			今年度、協議会は案内がなかったが、地域の支援者連絡会に参加している。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		母子通園のため、送迎後、子どものわらわらに沿って活動の様子を伝えている。	
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		面談時に保護者の意向を聞いたり、同意を得て作成している。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		就園や就学前など、他希望に応じて面談をしている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		随時相談等、対応できるようにしている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月園だよりや行事・勉強会の情報を発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		法人のプライバシーポリシーに基づき面談時に説明し同意を得ている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			福祉館を利用し今後地域の方との交流を計画していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを作成し実施している。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		入園前面接で聞き取りをし個々に対応する。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		入園前面接で聞き取りをし個々に対応する。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記録簿を作成し職員間で回覧、改善注意点について周知している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか					

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。